

御挨拶

「逆境を力に変えて」

静岡県教育委員会 教育長 **木苗直秀**

令和3年度における静岡県高等学校総合文化祭の部門別開催に当たり御挨拶を申し上げます。

7月31日から8月6日まで和歌山県で開催された全国高等学校総合文化祭には、本県の代表が18部門に参加しました。各部門で生徒たちは、日頃の活動で培った成果を十分に発揮し、各都道府県代表の高校生たちと切磋琢磨しながら、技芸を一層高めることができたと思います。こうした成果は、高校生の皆さんが日頃から積み重ねた努力の結果であることはもちろんですが、顧問の先生方をはじめ、指導にあたっていただいた多くの方々への御尽力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

さて、静岡県では「有徳の人」づくりを目指しており、県教育委員会では、そのための教育の基本姿勢として「文・武・芸」三道の鼎立の実現を掲げています。「文」と「武」に加えて文化・芸術も教育の重要な要素として捉え、「新しい実学」として芸術分野を位置付け、その能力を伸ばす教育にも力を入れております。具体的な取組として、文化系部活動の支援として、各分野の第一線で活躍されている専門家を講師として高校に派遣し、生徒が直接指導を受ける「文化の匠」派遣事業を実施しています。このような事業を積極的に活用することで、文化部の活動が更に発展、充実することを願っております。また、文化部の活動を通して、高校生の皆さんが友情を育み、深めていくことを期待しております。

今年度の県総合文化祭は、4月の百人一首部門に始まり、来年2月の定時制通信制部門まで、全22部門で大会、演奏会、公演、展示等を通しての発表が県内各会場で開催されます。

高校生をはじめ、多くの皆様に会場へと足をお運びいただき、生徒たちの努力の成果と作品に込められた熱い思いを感じ取っていただけることを期待しております。

御挨拶

静岡県高等学校文化連盟会長
駿河総合高等学校校長

野本人丸

静岡県高等学校総合文化祭は、本県内の高等学校及び高等部を置く特別支援学校の芸術文化活動の振興と創作活動の活性化を図ることを目的に開催されております。

今年は4月11日の百人一首専門部による全国高総文祭出場選手選考会を皮切りに、来年2月の定時制・通信制専門部の中部地区合同文化祭まで約11か月の期間に、22の専門部による大会が県内34会場で行われます。大会に至るまでの様々な活動を通じ、お互いに刺激し合い切磋琢磨して、すべての専門部並びに各学校における文化活動がより一層充実したものとなることを心から期待します。

静岡県高等学校総合文化祭とは、今回出場・出品がかなわなかった者を含め、本県文化部長生徒全ての地道ながらも熱意溢れる日々の取組が凝縮された場であると感じています。各種大会や発表会で好成績を挙げることも大切ですが、それを目指す活動を通じて、生徒が、日々、試行錯誤を繰り返し、自己と向き合い、仲間とともに人間性を高め合うことが、最も尊いことだと考えます。その経験こそが、これからの人生を力強く、豊かに生き抜く糧になると確信しています。

県民の皆様には、生徒が様々な表現した作品や発表の鑑賞を通じ、本県高校生やその文化的活動に対し、理解を深めていただく機会となることを願っております。

結びに、日頃生徒の成長のために御尽力いただいている顧問の皆様を始め、生徒を励まし暖かく支えていただいている保護者の皆様、生徒の技能向上に向け全力を尽くしてくださる外部指導者の方々に深く感謝申し上げ、挨拶とさせていただきます。

御挨拶

静岡県高等学校文化連盟書道専門部会長
静岡県高等学校書道教育研究会会長

静岡県立沼津西高等学校校長 **小川伸吾**

2021年度静岡県高等学校総合文化祭書道部門並びに静岡県高等学校書道展に御来場いただき、誠にありがとうございます。また、日頃より書道教育に対する御理解と御支援を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年度はWEB開催となりました全国高等学校総合文化祭（全国高総文祭）は、本年度は和歌山県で開催されました。コロナ禍の中にありながら計画・実施に当たられた和歌山県の実行委員の生徒、先生方に対して、あらためて感謝申し上げます。出品、参加した生徒にとっては、かけがえのない貴重な体験となりました。作品審査の結果、浜松学芸高校の村松怜さんが奨励賞、浜名高校の鈴木菜月さんが特別賞を受賞しました。

コロナ禍のために学校の教育活動は制限を受け、多くの生徒が作品完成に至るまでの十分な時間を確保することも困難な日々が続きました。そうした中で、今回、多くの生徒が情熱を注いで完成させた渾身の作品をこのように展示することができたことを、たいへん嬉しく思っております。それぞれの作品には、表現技法の習得の成果や自らの感性を表現するための工夫が見られますが、同時に、人間的な成長も表れているに違いありません。今後とも、さらに修練を積み重ねてほしいと期待しています。今回展示された作品のうちで入選作品は、来年度に東京都で開催される全国高総文祭に出品されます。御来場の皆様にはそれぞれの作品を御鑑賞いただき、作品の技巧だけではなく、作品に込められた生徒たちの思いを感じ取っていただければ幸いに存じます。

最後になりましたが、今回の書道展の開催に当たって御尽力いただいた顧問の先生方、御支援を賜りました保護者の皆様に重ねて感謝申し上げます。

参加校

(49校)

新居高校	沼津西高校
伊豆総合高校	沼津東高校
伊豆中央高校	浜北西高校
小笠高校	浜名高校
加藤学園高校	浜松市立高校
金谷高校	浜松開誠館高校
御殿場高校	浜松学院高校
静岡学園高校	浜松学芸高校
静岡中央高校	浜松北高校
静岡東高校	浜松湖東高校
清水西高校	浜松湖南高校
下田高校	浜松湖北高校
城南静岡高校	浜松商業高校
駿河総合高校	浜松城北工業高校
清流館高校	浜松日体高校
星陵高校	浜松東高校
聖隷クリストファー高校	浜松南高校
天竜高校	富士高校
桐陽高校	富士宮西高校
常葉大学附属菊川高校	富士宮東高校
日本大学三島高校	富士見高校
葦山高校	三島北高校
市立沼津高校	横須賀高校
沼津商業高校	吉原高校
沼津城北高校	